



学校法人 茂来学園
大日向小学校

.....
学校案内
2021.04 改訂版
.....



誰もが、豊かに、 そして幸せに生きることのできる 世界をつくる。

私たちの考える「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界」とは、すべての人が「個」として大切にされ、それぞれの違いを認め合い、互いに協働することを通して世界平和に貢献する、自由と責任のある共同体です。

この目的を達成するために、私たちは学校を設立し、学校そのものが理想の共同体になることを目指します。

なぜなら、そうした環境で学んだ子どもたちがこそが、豊かで幸せに生きることができる世界をつくると、私たちは信じているからです。

イエナプラン教育が大切にしてきたことには、「児童が自分の特性を活かしながら学ぶこと」「自分自身の学びに責任を持つこと」「年齢も考え方も違う集団の中で協働しお互いに助け合いながら成長すること」「集団の中の誰もが自分らしく生活できるように責任をもって意思決定に参加すること」「自分自身の関心から生まれる問いに基づき自発的に学ぶこと」、そして「身近な自然や地域の人々との関わりといった実社会と地続きの学習環境の中で学ぶこと」などが挙げられます。

私たちの学校は、こうしたイエナプラン教育の経験に学びつつ、日本の教育ならではの豊かさを活かすことで、新たな価値を提供することができると考えています。

限られた一部の人のためだけに特殊な教育を行う学校ではなく、学習指導要領に基づいた教育を行う一条校である小学校の新たな在り方を示すことも、私たちが目指すことの1つです。佐久穂町に日本で初めてイエナプラン教育に基づく小学校ができたことは、公教育の選択肢を増やすという意義を持つと考えています。





ごあいさつ



学校法人茂来学園
理事長
中正 雄一

次世代の子どもたちのために。

子どもたちの未来を預かることは未来の社会をつくっていくことに他ならないという考えから、次の世代の子どもたちの教育の場をつくりたいという想いで、小学校の設立を目指し始めました。

「子どもたちの未来のために」という理念のもと、100園以上の保育園を設立してきた中で、どのような教育の場をつくるのがこれからの日本の未来をより良くすることに繋がるのかを考えていたところ、ひとりひとりを大切に、自立した市民を育てるイエナプラン教育と出会いました。自然が多く地域との繋がりをつくることのできる環境にある佐久穂町で、日本初のイエナプランスクールの設立できることを嬉しく思っています。



大日向小学校
校長
桑原 昌之

一人ひとりが幸せに生きていくために。

2019年4月、佐久穂町に日本初のイエナプランスクールとなる大日向小学校が開校いたしました。おかげさまで地域の皆さまに支えられながら地元である東信地域や全国各地から移住してきた子どもたちが元気に通学しています。

私たちは「子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、多様な人々と協働しながら世界に目を向けて主体的に学ぶ学習環境を築くこと」を大切にしています。

子どもたちは、素晴らしい自然環境のもと、好奇心旺盛に探究心をもって自らの学びに向き合い続ける日々を過ごしています。壁にぶつかることも多々ありますが、そんな時にもお互いに支え合いながら課題を解決していく姿が逞しく映ります。

これからも子どもたちを支える関係者の皆さまと共に「一人ひとりの物語」を大切にしながら学校づくりを進めてまいります。





大日向小学校が大切にすること

大日向小学校が大切にすること3つのこと

大日向小学校が大切にすること3つが実現したとき、自ら「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界」をつくろうとする意志と行動力を持つことができると私たちは信じ、日々子どもたちと共に学んでいきます。

1 自立する

個々の発達や個性に合わせた学びを大切に、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、学びに対する当事者意識を育みます。子どもたちは、それぞれの発達に合った自然な流れの中で、自身の学びに責任を持ち、自ら考え、より良い行動を選択するように成長していきます。



2 共に生きる

異年齢での活動を重視し、子どもたちは、私たち人間は多様な存在であること、そして多様な人たちが共に生きるにはどうしたら良いのか（他者との協働）を毎日の学校生活の中で学びます。

また、地域社会の多様な大人との関わりを持ち、伝統と文化に触れ、挑戦していくことの大切さを実感するとともに、佐久穂町の自然を最大限に活かし、生命の有限性や自然の大切さを知り、自然や地球との共存についても学びます。



3 世界に目を向ける

「対話・遊び・仕事（学習）・催し」といった、日々の暮らしの中で行われている営みを学校の中にも自然な形で取り入れて、理想の共同体を学校の中につくることを目指します。

子どもたちは、現実にある本物に触れることを通して、私たちは社会の一員であるということを実感し、世界で起きていることに責任を持って関わるようになります。



イエナプラン教育のコアクオリティ

私たちが大切にすること「関係性」

自分自身との関係

- 1.1 子どもたちは自分の長所と短所を自覚し、自分の特性を活かしながら努力する。
- 1.2 子どもたちは自分の成長と発達を元に評価される。
- 1.3 子どもたちは何を学びたいか、何を学ばなければならないか、いつ説明が必要か、どのように学習を計画しなければならないかについて、自分自身で責任を持つことを学ぶ。
- 1.4 子どもたちは自分の発達に対してリフレクション（振り返って見直すこと）を学ぶ。またそれについて他の人と話し合うことを学ぶ。

他者との関係

- 2.1 子どもたちは、異年齢グループの中で発達する。
- 2.2 子どもたちは、協働、助け合い、それらについてお互いの行動を振り返ることを学ぶ。
- 2.3 子どもたちは、ファミリー（根幹）グループや学校における調和の取れた共同生活について、誰もが自分らしく、また、豊かな生活を経験できるように、自ら責任を持ち、共に意思決定に参加することを学ぶ。

世界との関係

- 3.1 子どもたちは、自分たちが成すことは、生きた真正な（本物で現実の）状況の中に対するものであることを理解し、その中で学んでいくことを学ぶ。
- 3.2 子どもたちは、自分の周囲の環境を大切に、責任を持ってかわることを学ぶ。
- 3.3 子どもたちは、世界について識るために、ワールドオリエンテーションの中で、学校が教材として提供している学びの内容を適用する。
- 3.4 子どもたちは、リズムカルに組まれた日課に沿って、遊びながら、仕事をしながら、対話をしながら、また、共に催しに参加しながら学ぶ。
- 3.5 子どもたちは、自分自身の関心や問いから自発的に行動することを学ぶ。



イエナプラン教育のコンセプト

イエナプラン教育のコンセプトは、人間について・社会について・学校について記された「20の原則」として語られています。

(K・ボットとK・フロイデンヒル 1992年／リヒテルズ直子日本語訳)

人間について

01 どんな人も、**世界にたった一人しかいない人**です。つまり、どの子どももどの大人も一人一人がほかの人や物によっては取り換えることのできない、**かけがえのない価値**を持っています。

03 どの人も自分らしく成長するためには、次のようなものと、**その人だけにしかない特別な関係**を持っています。つまり、ほかの人々との関係、自然や文化について実際に感じたり触れたりすることのできるものとの関係、また、感じたり触れたりすることはできないけれども現実であると認めるものとの関係です。

04 どの人も、いつも、その人だけに**独特のひとまとまりの人格を持った人間**として受け入れられ、できる限りそれに応じて待遇され、話しかけられなければなりません。

02 どの人も**自分らしく成長していく権利**を持っています。自分らしく成長する、というのは、次のようなことを前提にしています。つまり、**誰からも影響を受けずに独立していること、自分自身で自分の頭を使ってものごとについて判断する気持ちを持てること、創造的な態度、人と人との関係について正しいものを求めようとする姿勢**です。自分らしく成長して行く権利は、人種や国籍、性別、(同性愛であるとか異性愛であるなどの) その人が持っている性的な傾向、生まれついた社会的な背景、宗教や信条、または、何らかの障害を持っているかどうかなどによって絶対に左右されるものであってはなりません。

05 どの人も**文化の担い手**として、また、**文化の改革者**として受け入れられ、できる限りそれに応じて待遇され、話しかけられなければなりません。



社会について

06 私たちはみな、それぞれの人がもっている、**かけがえのない価値を尊重しあう社会**を作っていないとではなりません。

09 私たちはみな、**地球と世界とを大事にし、また、注意深く守っていく社会**を作っていないとではなりません。

07 私たちはみな、それぞれの人の**固有の性質(アイデンティティ)**を伸ばすための場や、**そのための刺激が与えられるような社会**をつくっていないとではなりません。

08 私たちはみな、**公正と平和と建設性**を高めるという立場から、人と人との間の**違い**やそれぞれの人が**成長したり変化したりしていくこと**を、受け入れる社会をつくっていないとではなりません。

10 私たちはみな、**自然の恵みや文化の恵み**を、未来に生きる人たちのために、**責任を持って使うような社会**を作っていないとではなりません。

学校について

12 学びの場(学校)で働く大人たちは、1から10までの原則を**子どもたちの学びの出発点**として仕事をします。

11 学びの場(学校)とは、そこに**かかわっている人たちすべてにとって、独立した、しかも共同して作る組織**です。学びの場(学校)は、社会からの影響も受けませんが、それと同時に、社会に対しても影響を与えるものです。

13 学びの場(学校)で教えられる教育の内容は、子どもたちが実際に生きている**暮らしの世界と、(知識や感情を通じて得られる)経験の世界**とから、そしてまた、〈人々〉と〈社会〉の発展にとって大切な手段であると考えられる、私たちの社会が持っている**大切な文化の恵み**の中から引き出されます。

14 学びの場(学校)では、教育活動は、**教育学的によく考えられた道具**を用いて、**教育学的によく考えられた環境**を用意したうえで行います。

16 学びの場(学校)では、子どもたちが**お互いに学びあったり助け合ったりすることができるように**、年齢や発達の程度の違いのある子どもたちを慎重に検討して組み合わせたグループを作ります。

18 学びの場(学校)では、学習の基本である、**経験すること、発見すること、探究すること**などとともに、**ワールドオリエンテーション**という活動が中心的な位置を占めます。

15 学びの場(学校)では、教育活動は、**対話・遊び・仕事(学習)・催し**という4つの基本的な活動が、交互に**リズムカル**にあらわれるという形で行います。



17 学びの場(学校)では、**子どもが一人でやれる遊びや学習と、グループリーダー(担任教員)が指示したり指導したりする学習**とがお互いに**補いあうように交互**に行われます。グループリーダー(担任教員)が指示したり指導したりする学習は、特に、レベルの向上を目的としています。一人でやる学習でも、グループリーダー(担任教員)から指示や指導を受けて行う学習でも、何よりも、**子ども自身の学びへの意欲が重要な役割**を果たします。

19 学びの場(学校)では、子どもの行動や成績について**評価**をする時には、できるだけ、**それぞれの子どもの成長の過程がどうであるか**という観点から、また、それぞれの**子ども自身と話し合い**をするという形で行われます。

20

学びの場(学校)では、何かを変えたりよりよいものにしたりする、というのは、常日頃からいつでも続けて行わなければならないことです。そのためには、**実際にやってみる**ということと、それについて**よく考えてみる**ことを、いつも**交互に繰り返す**という態度を持っていないとではなりません。

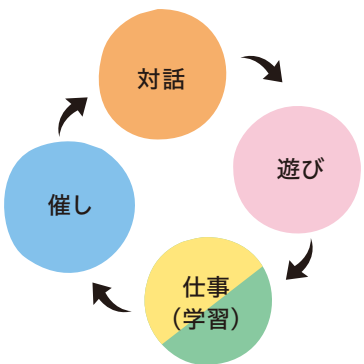




子どもたちの1日

～ 4 つの学びのサイクル～

人々の自然な学習形態である4つの基本活動「対話・遊び・仕事(学習)・催し」をリズムカルに循環させる時間割で学びます。子どもたちは週の初めに立てた計画に沿って学習を進めます。



大日向小学校のスケジュール表(例)

	月	火	水	木	金
8:00	8:00学校オープン／8:10頃スクールバス到着				
8:30	サークル(対話)				
8:45	ブロックアワー				
10:15	あそび／おやつ				
10:45	ブロックアワー				
11:50	ランチ				
13:00	あそび		サークル(対話)	あそび	
13:15	ワールド オリエン テーション	あそび 外国語 BH ワールド オリエン テーション BH 外国語	13:25 スクールバス 出発	ワールド オリエン テーション	ワールドオリエン テーション 催し
14:45	サークル(対話)			サークル(対話)	
	15:25 スクールバス出発			15:25 スクールバス出発	

サークル対話

対話することは私たちが共に生きていくための土台となります。大日向小学校の一日は、サークル対話で始まり、週末にあったことやクラスの中の出来事など、お互いに顔が見えるようにサークル(輪)になって話します。1日の終わりのサークルになって、その日を振り返ります。

遊び

大日向小学校では、「遊び」の時間も大切にされています。好きなことを自由にするという遊びもあれば、グループリーダー(教師)が意図を持って計画的に行う遊びもあります。身体を動かしてリフレッシュしたり、絵を描いたり歌を歌ったりすることで、一日の生活がよりリズムカルになります。

催しと行事

大日向小学校では、1年や1週間といった区切りの始まりと終わり、季節ごとのお祭りや誕生日や記念日など、様々な機会に学んだことや、嬉しいこと、悲しいことを共に分かち合う「催し」を行います。また、地域の方々と共に行うスポーツフェスティバルや、地域の行事への参加なども積極的に行っています。

イエナプラン教育の 特徴的な活動

ブロックアワー (自立学習・基礎学習)

グループリーダー(教師)が、1週間を基本単位として、各教科の基礎的・基本的な学習や、ワールドオリエンテーションに必要な内容についての課題を設定します。子どもたちは、グループリーダー(教師)から示された「しなければならない課題」と「自分自身が選択した内容」について、どのように学ぶかを計画し、それぞれに合った方法で自立的に学習します。

ワールドオリエンテーション (協働学習・総合学習)

ワールドオリエンテーションは「イエナプランのハート」と呼ばれ、日々の学習の中心的な活動です。学校全体で取り組むテーマに沿って、教科横断的に学習を進めます。実際に世界で起こっていること(身近なことから地球規模のことまで)について、教科学習で学んだことを活用し、グループのメンバーと協力しながら総合的に学びます。また、ワールドオリエンテーションの中で生じた問いを深めるために、ブロックアワーでも必要な知識を得ていくという循環によって、「意味」のある学びとなります。

異年齢での学習活動

大日向小学校の活動の多くは、実際の社会が異年齢で構成されているのと同様に、学年をまたいだ異年齢の子どもたちとグループリーダー(教師)で構成される活動グループで行われます。こうして立場の違いを経験することで、「人はみんな違う」ということを当たり前と捉えられるようになります。





居心地の良い生活空間としての教室

大日向小学校の教室は、子どもたちにとって安心して居心地の良い「リビングルーム」として設計されています。同時に、子どもたち自身の責任において、自分たちでつくりあげる空間でもあります。



学びが生まれる環境

子どもたちとグループリーダー（教師）がいつでもサークル（輪）になって話すことのできる場所や、子どもたちがグループで作業することのできる場所、ひとりで静かに学ぶ場所などがあり、自然に「動き」が生まれるように設計されています。

また、教室に限らず、子どもたちの好奇心を刺激したり興味関心をふくらませたりするための仕掛けが、廊下やエントランスや校庭など、学校のいたるところにあります。

これらはすべて、子どもたちが自発的に学びたいという意欲を持つようになるための、専門的に考え抜かれた環境です。



エントランス



それぞれ違う種類の木で作られた校章

地域社会に開かれたオープンな空間のある学校

正面のエントランスは、地域社会に開かれた窓口の役割を果たします。また、ランチルームも保護者や地域の方々が訪ねることのできるスペースにすることで、新たな交流が生まれます。学校がオープンな場になると、子どもたちが地域社会に出ていく機会も増え、本物から学ぶチャンスが広がります。また、学校に地域の方々がいらしてくださることで、保護者と教職員だけでなく、地域全体で子どもたちを見守ることができます。



大日向食堂（ランチルーム）



体育館



音楽室

校内
スナップ



廊下にはベンチスペースもあります。



開放感のある教室・廊下



佐久穂町産のカラマツ材が、校舎のいたるところに施されています。



佐久穂町のこと。



佐久穂町は長野県東部にある人口11,000人の、住民の温かい人柄と支え合いのコミュニティが息づく「お互いの顔が見える」町です。その将来像として「自律した多様なコミュニティが人々の暮らしを支え、挑戦や行動を支援するまち」と掲げられています。

西は北八ヶ岳や八千穂高原、東は茂来山や古谷溪谷を擁し、町の中心を千曲川が流れる自然豊かな立地です。豊富な水と高い晴天率、冷涼で寒暖差のある気候を活かし、野菜や果実・花の栽培に取り組む若手農業者の活躍が目玉を集めています。

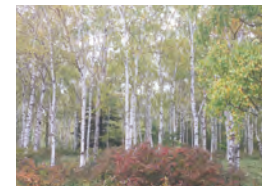
地盤が強固で地震が少ないのも特徴で、中部横断自動車道のインターチェンジがあり、安心と利便性の高い暮らしができる町です。

大日向小学校の周りも、川や森林といった自然環境に恵まれ、また水田や畑、果樹園もあります。

これらすべてが学びの環境となり、地域の人たちと交流しながら、「本物から学ぶ」ことができます。

佐久穂町のスポット

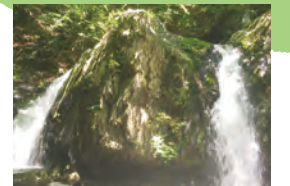
MAP
of SAKUHO Town



白樺群 (八千穂)



茂来山



乙女の滝



大日向小学校の周辺には畑や水田があり、時には地域の人たちと交流しながら農作業を手伝うなど、本物の体験ができる環境に囲まれています。



佐久穂町では、ブルーベリーなどの果実や、アルストロメリアやカーネーションなどの花の栽培が盛んです。学校が地域からお借りしているブルーベリー畑もあります。



抜井 (ぬくい) 川は、大日向小学校から徒歩で遊びに行ける距離にあり、地域の方々にも愛されています。

「交通アクセス」について
詳細はP.18へ



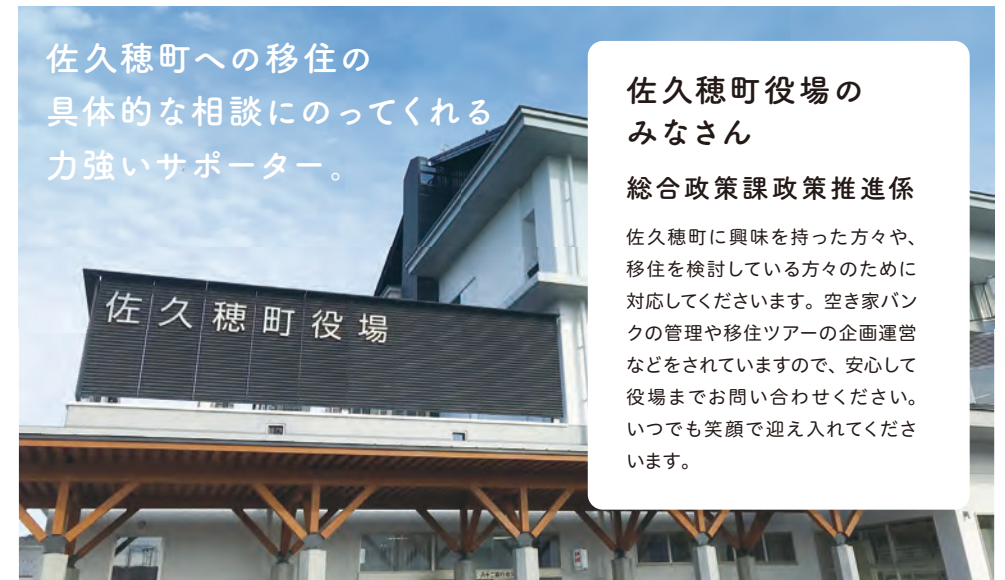
佐久穂町の人たち。

佐久穂町では、ありがたいことに、「学校が再びできるなんて奇跡だ!」「子どもたちの声がまた聞こえてくるのが楽しみ」「校舎に電気が点いていると嬉しい気持ちになる」「家で育てた野菜を学校に持って行くからね」など本当に優しくあたたかいお声がけをたくさんいただいております。

とある地域の方から、「移住をして来てくれる人が増えるのはとても嬉しいけれど、

佐久穂の文化を守ることができるだろうかと投げかけられました。率直なお気持ちだったと思います。私たちが「それはわかりません。だからこそ、対話を繰り返しながら、共に文化を継承し、新たに積み重ねていけるようにしたい」とお話をさせていただくと、その方は「そうだな!」とニコリと笑みを浮かべてくださいました。

佐久穂町への移住の具体的な相談にのってくれる力強いサポーター。



佐久穂町役場のみなさん

総合政策課政策推進係

佐久穂町に興味を持った方々や、移住を検討している方々のために対応してまいります。空き家バンクの管理や移住ツアーの企画運営などをされていますので、安心して役場までお問い合わせください。いつでも笑顔で迎え入れてくださいます。

地域おこし協力隊

佐久穂町の移住交流促進や地域活性化のために活動している方々です。佐久穂町への移住も経験されていらっしゃるので、移住支援員として色々と相談にのってくださると思います。

お問い合わせ先

「さくほde暮らす」

<https://www.town.sakuho.nagano.jp/iju/>



「佐久穂町役場 総合政策課 政策推進係」

TEL:0267-86-2553 FAX:0267-86-4935 mail: seisaku@town.sakuho.nagano.jp

アンテナさくほのみなさん

「アンテナさくほ」の力武さん(右)と佐塚さん(左)は、人と人を繋げていくことで地域の財産(豊かな自然や素敵な人々など)を広く伝える仕事をなさっています。さくほジバ共和国の事務局も担当されています。



さくほジバ共和国のみなさん

さくほジバ共和国は、佐久穂町の達人たちと里山体験ができるプログラムなどを提供しています。佐久穂町のことを愛していることが笑顔と行動で伝わってくる方々です!

<http://jeebaa-republic.jp/>

通学パターンとアクセス

2018年に中部横断自動車道・佐久穂I.C.が開通し、佐久穂町と高速道路が直結。東京から車で3時間ほどでアクセスが可能となりました。

また、北陸新幹線「佐久平」駅からは、JR小海線や車で30分ほどの距離。

さまざまなライフスタイルに対応できる、好立地となっています。

通学パターン

① スクールバス

佐久平駅から学校までのスクールバスが運行されています。停留所は、佐久平駅浅間口、佐久合同庁舎前（佐久市跡部）、こどもセンターさくほっこ前（佐久穂町海瀬、小海線海瀬駅からすぐ）にあります。

② 徒歩や保護者の送り迎え

学校の近隣からは、徒歩または保護者の送迎で通学が可能です。

アクセス

鉄道とお車で

●東京方面より
東京駅 → 新幹線 → 佐久平駅 75分

●大阪・名古屋方面より
新大阪・名古屋駅 → 新幹線 → 東京駅 → 新幹線 → 佐久平駅 100分～150分 75分

●新潟方面より
新潟駅 → 新幹線 → 高崎駅 → 新幹線 → 佐久平駅 75分 25分

●金沢方面より
金沢駅 → 新幹線 → 佐久平駅 110分

お車で

●東京方面より
練馬I.C. → 関越道 → 藤岡J.C.T. → 上信越道 → 佐久小窪J.C.T. → 中部横断道 → 佐久穂I.C. → 国道299号 → 大日向小学校 1時間 55分 15分 10分

調布I.C. → 中央道 → 須玉I.C. → 国道141・299号 → 大日向小学校 1時間30分 1時間5分

●新潟・金沢・長野方面より
新潟西I.C. → 北陸道 → 長岡J.C.T. → 関越道 → 藤岡J.C.T. → 上信越道 → 佐久小窪J.C.T. → 中部横断道 → 佐久穂I.C. → 国道299号 → 大日向小学校 30分 2時間10分 55分 50分 120分 上越J.C.T. → 上信越道 → 更埴J.C.T. → 上信越道 → 佐久小窪J.C.T. → 中部横断道 → 佐久穂I.C. → 国道299号 → 大日向小学校 1時間 35分 15分 10分

●名古屋方面より
小牧J.C.T. → 中央道 → 小海沢I.C. → 国道141・299号 → 大日向小学校 2時間30分 1時間15分

レンタカー・タクシー
佐久平駅 → 大日向小学校 30分

JR小海線 車・タクシー
佐久平駅 → 海瀬駅 → 大日向小学校 35分 7分

●「佐久平駅」から大日向小学校までは車で30分程度です。佐久平駅周辺からレンタカーを借りることもできます。
●「海瀬駅」から大日向小学校までは7キロほどありますので、お車で移動をお勧めします。

※所要時間は平均的な時間で換算しています。また、季節・交通事情によって異なります。

佐久穂町に移住しました。



カレー屋ヒゲめがね 店主 豊田 陽介
小さな雑貨屋 pieni valo 豊田 愛子

2018年、1年間の育休を取得中に自然豊かな環境への短期移住を計画、佐久穂町にご縁を頂くことに。そんな体験移住中に偶然出会ったのが開校前の大日向小学校。「夏のがっこう」に参加した際の、息子のイキイキと楽しそうな顔に衝撃を受け、

こんな学校に通わせてあげたい、佐久穂町の自然豊かな環境で育つ子どもたちを見てみたいと思うように。2019年の開校に合わせて佐久平に移住、子どもがノビノビと楽しむ姿を見ながら、我々親も、もっと自分たちらしく生きて良いのではないかと思い至り、2020年6月、佐久穂町で『カレー屋ヒゲめがね』『小さな雑貨屋 pieni valo』を開業しました。

ヒゲめがねのスパイスカレーや、pieni valoの愛らしい雑貨で皆さまに笑顔をお届けしつつ、自然豊かな環境で、自分たちらしくゆったりと暮らす。子どもたちはもちろんのこと、親も、皆がそれぞれ、豊かで幸せな暮らしができるよう、毎日を丁寧に過ごしていきたいと思っています。

カレー屋ヒゲめがね／小さな雑貨屋 pieni valo

長野県南佐久郡佐久穂町高野町 2950-8
イトイン : 火・水・土 11:30～15:00
テイクアウト : 金 11:00～13:00 / 16:00～19:00

※営業日は変更になる場合がございます。
最新情報はホームページでご確認下さい。
<https://higemeganecurry.com/>



ドーナツカフェ mikko 店主 塚原 諒

2017年の秋に大日向小学校設立準備の事務局スタッフとして佐久穂町で暮らしはじめました。縁あってお借りすることができた町内の空き家は、もともと地域の商店をやっていたような住居兼店舗でした。せっかくなので、これからこの地域への移住を考えている方と、ずっとこの地域に住まわれている方とが、自然と集い交流できるような場所をつくりたいと考え、2018年の春からドーナツが目印の小さなカフェをはじめました。初めてこの町を訪れた皆さまに「ようこそ」をお伝えできる最初の場所（地域のウェルカムセンター）として、皆さまのお越しをお待ちしております。

ドーナツカフェ mikko

長野県南佐久郡佐久穂町海瀬 57-1
9:30-17:00（月・火定休） <http://www.welcometomikko.com/>



よくある質問

【教育内容や学校生活】

Q 異年齢グループで活動する際の、1グループの児童数と先生の人数は？
A 下学年、上学年とも30名のファミリーグループ（クラス）にグループリーダー 1～2名です。全ての子どもたちを全ての教職員が見るという考え方で、常に複数の教職員が各グループとの関わりを持っています。

Q どんな人がグループリーダーとして働いていますか？
A 2021年4月現在、25人あまりの教職員がいて、そのうち14名がグループリーダーです。本校に来る前は、公立の小学校で働いていた人がほとんどですが、私立学校や中学校で働いていた人もいます。オランダで、3ヶ月間のイエナプラン教育専門教員養成研修を受けてきた人もいます。
また、これまでの在籍校で前向きに実践を積み重ねてきた人も多く、イエナプラン教育のコンセプトに共感し、それを体現したいと考えている人が集まっています。

Q 給食はありますか？ 自校給食ですか？
A 大日向小学校では給食を「学校ごはん」と呼んでおり、校内にある「大日向食堂」で毎日作られています。食物アレルギーについては事前にお知らせいただいた上で、大日向食堂の管理栄養士がそれらに配慮して献立作りを行っています。

Q 登下校はどのような方法がありますか？
A 徒歩通学、スクールバス利用、保護者による送迎などがあります。
ご参考までに現在、本校で運行しているスクールバスのスケジュールは下記の通りです。
<行き>佐久平駅発 7:40 佐久振興局合同庁舎発 7:45
佐久穂町こどもセンター「さくほっこ」（JR海瀬駅徒歩3分）発 8:05 学校着 8:15 頃
<帰り>学校発 15:25 佐久穂町こどもセンター「さくほっこ」着 15:35 頃
佐久振興局合同庁舎着 15:55 頃 佐久平駅着 16:00 頃
（水曜日のみ、学校発 13:35 の運行スケジュールとなります）
※発着時刻や運行ルート、バス利用料については年度毎に見直します。

Q 地域との関わりはどのようなものがありますか？
A 例年、年に二回ほど地域の皆さまと合同で学校行事（運動会／交流会）を開催しております。また行事以外にも校外学習は頻繁に行っており、地域の皆さまと交流しています。

Q 放課後はどのように過ごしていますか？ 学童保育はありますか？
A 放課後は帰宅する児童以外は、学童保育の利用者が多いです。本校には、開校直後に保護者有志によって立ち上げられた、自主運営型学童保育「ひなたぼっこ」があります。また佐久穂町には、「さくほっこ」という愛称で親しまれる子どもセンターがあり、本校の在校生はこちらを利用することも可能です。

【保護者の学校運営への関わり方】

Q 保護者はどのように学校に関われますか？
A 児童生徒、保護者、教職員、理事の4者からなる対話の場（「学校セッション」）を通じて学校運営に関わる機会があります。また、図書館整備やブルーンの栽培活動などのプロジェクトに参加することもできます。保護者の皆さまが、やりたいことを提案したり、それに協力したりという方法を取っています。

【住まい・暮らし】

Q 佐久穂町や近隣地域での住まいの探し方は？
A 佐久穂町の住まいについては、インターネットで不動産を検索いただくほか、佐久穂町が運営する移住定住ポータルサイトをご覧ください。<https://www.town.sakuho.nagano.jp/iju/>

【募集、体験プログラムなど】

Q 定員は何人ですか？
A 1学年の定員は30名です。募集人数やスケジュールについては、該当年度の募集要項を必ずご確認ください。

Q 定員を上回った場合は、選考はどのように行われますか？
A 定員を上回っている場合には、抽選により入学者を決定いたします。応募者数が定員内であっても、書類や手続き上の不備、または個別面談の結果等から、入学が認められない場合があります。個別面談の際の対話を通じて、お互いがオープンに話せる関係性であること、また、この学校に入学することがお子さまとご家族にとって良い選択になるということの確認が大切だと考えています。

Q 入学を検討するにあたって、説明会や体験プログラムはありますか？
A 学校説明会は、エントリー期間前に複数回実施しています。また季節ごとの体験プログラムを開催しております。詳細はその都度、本校WEBサイトにてお知らせいたします。

Q 学校見学はできますか？
A 本校WEBサイトの「学校だより」の「学校見学」の項をご参照ください。

Q 学費等について
A 該当年度の募集要項をご確認ください。

【その他】

Q 小学校以外に、中学校、高校を設立する予定はありますか？
A 中学校については2022年4月開校を目標に現在設立準備中です。高校については、イエナプランスクールで自らの学びに責任を持つことができるようになれば、子どもたちが自分自身の道を選択することができるようにと考えており、今のところは開校を考えていません。

Q 中学校卒業後の進路の考え方について教えてください。
A 本校では、日々、選択と決定の練習を積み重ねています。中学校卒業後の進路選択は自分の生き方の設計の一部として、進路の選択肢を探したり、自分の可能性や適性を考えたりしながら、自分自身で決められるようになってほしいと思っています。そのためにサポートが必要な場合は、保護者のみなさまと教職員でサポートしていくことになると考えています。

Q 教職員の採用について
A 教職員の採用については、通年での募集は行っておりません。募集がある場合のみ、WEBサイトやメールマガジンでお知らせいたします。

学校説明会

大日向小学校を知っていただく機会として、オンライン等で「学校説明会」を複数回実施しています。日々の様子を動画や写真で紹介しつつ、大日向小学校で子どもたちがどのように過ごしているのかをお伝えします。入学をご検討の方は、「学校説明会」にご参加くださいますようお願いいたします。



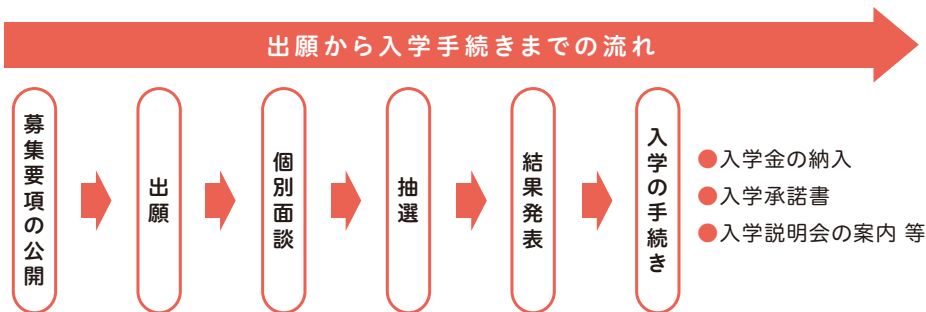
..... 詳細は本校公式サイトにてご確認ください。



<https://www.jenaplanschool.ac.jp/>

大日向小学校

入学手続きについて



※上記はあくまで基本的な流れであり、年度によっては異なる場合がございます。必ずその年度の募集要項にて詳細をご確認ください。

Book List



あたらしいしょうがっこうのつくりかた
中川綾 著/ナガオ考務店 (2019/11/28)



イエナプラン共に生きることを学ぶ学校
フレーク フェルトハウス・ヒュバート ウィンタース著/
リヒテルズ直子 翻訳/ほんの木 (2020/10/15)



イエナプラン実践ガイドブック
リヒテルズ直子著/教育開発研究所 (2019/8/30)



オランダの共生教育 一学校が〈公共心〉を育てるー
リヒテルズ直子著/平凡社 (2010/10/2)



公教育をイチから考えよう
リヒテルズ直子・苫野一徳著/日本評論社 (2016/8/12)



どの子どもも輝く教室のつくり方
桑原昌之著/明治図書出版 (2020/3/12)



<https://www.jenaplanschool.ac.jp/>

発行／学校法人茂来学園大日向小学校

〒384-0502 長野県南佐久郡佐久穂町大日向 1110

.....
お問い合わせはメール、info@jenaplanschool.ac.jp

または本校公式サイトのお問い合わせフォームから

お願いいたします。

